

東濃社会教育だより

-未来塾 PTA活動編-



恵那県事務所
振興防災課 振興防災係
社会教育担当:長瀬
〒509-7203
恵那市長島町正家後田 1067-71
TEL:0573-26-1111 内線 208

恵那市地域未来塾の紹介

文部科学省と県が薦める地域学校協働活動推進事業の一つに「地域未来塾」があります。この事業は「地域と学校の連携・協働による学習支援」を行うものです。東濃地区では、恵那市が「地域未来塾」に取り組んでいます。(県内では、各務原市、養老町、川辺町が開催【平成30年度現在】)

恵那市地域未来塾は「自分の学力をさらに伸ばしたい」という中学校第3学年を対象に、受験対応に向けた学習の場を提供しています。5講座(国語・社会・数学・理科・英語)があり、学校が使用しているテキストを使って、学習のポイントや学習の仕方を学ぶことを目的としています。1月24日に、Ⅲ期の講座が開催されました。恵那市未来塾の講座は、大畑教育長をはじめ退職教員を含めた9名が講師を務めています。



個人追究の場面

数学講座の様子から

山岡中、明智中、上矢作中の生徒(12名)が参加しました。数学講座は2人の講師(羽柴先生、山田先生)の連携したきめ細かい指導が魅力でした。「直感が当たるのはレベルが上がっている証拠」「すごいなあ」「素晴らしいなあ」と講師からたくさん褒められ、どの子どもとても明るい表情でした。全体交流では、「直線だから90°になる」の発言に対して「円の中心を通る直線だから90°だね」と講師が根拠を明らかにして理解し合う場面も見られました。また、自作プリントは、様々な数学の定義や性質等をうまく活用しなければ解決できない問題ばかりでした。数学が得意な子向けの「スペシャル問題」も準備されていました。仲間と教え合ったり、説明し合ったりして、深い学びが習得できる講座でした。理解が不十分なところを「ちょっと微妙」と答え、仲間の説明を聞き直す姿もありました。全員が分かるようになりたいという目的をもって前向きに取り組み、集中した実りのある1時間の講座でした。



問題を説明する生徒

参加生徒の声

- 学校の案内でこの講座を知った。数学が得意になりたいと思って参加を決めた。いろいろな問題を準備してくれるのでとても楽しみ。
- 先生の説明が分かりやすく、細かいところまで見てくれてうれしい。
- この講座は、学校の勉強の復習となるからよい。

恵那市地域未来塾

【目的】

- (1) 高校進学を目指す中で、自分の得意分野を伸ばしたり、不得意分野を克服したりするために、もっと学習したい生徒への学習支援を行う。
- (2) いろいろな理由で、家庭での学習が困難である、学習の仕方が分からない、学習習慣が十分身につけていないなどの生徒への学習支援を行う。

【対象】

中学3年生(1講座25人程度)

【講座】

国語・社会・数学・理科・英語の5講座

【場所】

恵那北会場
恵那北中学校(国語・社会・理科)
恵那南会場
岩村コミュニティセンター(数学・社会・英語)
山岡コミュニティセンター(国語・理科・数学)
※1講座週1回

【時間】

18:30~20:00
(山岡の数学は19:00~20:00)

【内容】

学校で使用しているテキストを使って、学習のポイントや学習の仕方を教えます。

【数学講座の流れ】

- 小テスト(自作プリント)
先生からの個別指導
- プリント問題
個人追究
先生からの個別指導
仲間との教え合い
全体交流
先生からの解説

恵那市 PTA 連合会研究大会の様子から



1月19日(土)明智かえでホールにて、第1回恵那市PTA連合会研究大会が開催されました。

恵那市PTA連合会は、「今まで以上に実りのある研修となる場をつくりたい」という願いからこの研究大会を開催しました。大会参加に向けて、興味のある人や意欲のある人の自主的な参加を募りました。PTA役員や各小中学校の先生等、多くの参加者のもと活気に溢れた研究大会となりました。

恵那市中野方小学校でフレット付きバイオリンを指導されている可知優磨さんの美しい演奏の後、恵那市教育委員会大畑教育長からの、恵那市が重点として進めようとしている「ICT教育」や「CSの仕組みの活用」についての説明がありました。リクルートマーケティングパートナーズによる研修会や大野郡白川村立白川郷学園の水川和彦校長の講演も行われ、参加者は、有意義な時間を過ごしました。

恵那市 PTA 連合会研究大会

【PTA 連合会 スローガン】

「子どもを育み、守り、
地域とつながろう」

【研修会 テーマ】

「大学入試改革とスタディサプリ活用法」
リクルートマーケティングパートナーズ

【講演会 演題】

「子どもは大人の後輩ですか？」
白川村立白川郷学園 校長 水川和彦氏

水川和彦氏の講演からの抜粋

大野郡白川村立白川郷学園

白川郷学園は小学校課程から中学校課程まで義務教育を一貫して行う公立の義務教育学校です。羽島市立桑原学園と並び、岐阜県で初めての義務教育学校として2017年(平成29年)4月に開校しました。

① かしこい子に育てる

かしこい子を育てる→「なんで」と聞き続ける子 ※チョコちゃんのように。

- 「問題を正しく解く子」より「問題を自分でつくれる子」
- 「黒板を正しく写せる子」より「自分のノートとしてまとめる子」
- 「たくさんの本を読む子」も大切だが「いろんな本を読む子」
- 「TVをだらだら見る子」より「見る番組を選び録画できる子」
- 「基礎練習を嫌々やる子」ではなく「基本練習に意味をもてる子」



② 心豊かな子に育てる

赤ちゃんは、生まれたその日、何を決断したのか？ 母親とつながれた「へその緒」から栄養をもらい守られて生きてきた赤ちゃんが、おなかから出てきたときに「おぎゃあ」と泣く。肺呼吸をする瞬間、自分で生きることを決める。

③ プロとして成功する子の共通点は！

あたり前の練習に意味を持たせて続けてやれる子

過去の「東濃社会教育だより」を恵那県事務所のホームページから閲覧できます。

※ホームページ掲載場所

恵那県事務所 ⇒ 「家庭教育・社会教育」情報コーナー ⇒ 東濃社会教育だより

